



## 基本的な学習習慣の定着のために

5月7日（水）の朝、TV放送で「きらきら潮見っ子」というタイトルで、校内での基本的な学習習慣について、全校の子どもたちに伝えました。内容は、大きく3つ。「①学習の準備」「②姿勢」「③聞き方・話し方」です。

①では、左の写真のように筆箱や整理かごの中身や机に出すものなどを伝え、気持ちよく学習をするための準備の大切さを伝えました。



②では、鉛筆の持ち方、座っているときや立っているときのモデルを見たり、実際にしたりして、よりよい姿勢を体感しました。

③では、学習で大事になる「聞くことと話すこと」について、気を付けることを確認しました。「きらりタイム」という小集団での活動で、「聞くこと・話すこと」が試されます。

学習が始まる前にしっかり準備をして、学習中はよい姿勢で、人の話を聞いたり、自分の思いを伝えたりする、という基本的な学習習慣を身に付けることで、学力向上を図っていきたいと考えています。基本的な学習習慣が身に付いていることと学力には相関関係があるそうです。因果関係ではないので、「姿勢を正せば学力が上がる」というわけではありませんが、スポーツでも芸術でも、それに向けての準備や構え、フォームは大事であることは、間違いありません。学習も同じです。基本的な学習習慣をしっかりと身に付けながら、学習内容の定着を図っていくことが、「学力向上」につながっていくと考えています。

基本的な学習習慣の定着は、学校だけでできるものではありません。家庭のご協力も必要です。家庭学習でも、できるだけ学校と同じよう

### 《家庭学習を習慣づけるために》

- ※ 規則正しい生活を送る。（早寝・早起き・朝ご飯）
- ※ 決まった時間に学習する。
- ※ 机の上を片付け、よい姿勢で学習する。  
（テレビや学習に関係ない動画を消す。）

◎ 子どもの頑張りを見届け、温かな声掛けで励ます。

【「令和7年度家庭学習の手引き」より】

に取り組んでいく必要があります。「家庭学習の手引き」を参考にしながら、内容や時間を考えて学習をしてほしいと思います。学習内容は、学校で習ったことを復習したり、興味のあることを深掘りしたりするとよいでしょう。学習時間は「10分×学年＋（10）」を目安にして、子どもたちには少しでも机に向かう習慣を付けてほしいと思います。今後ともご協力の程、よろしくお願いいたします。

